

# 野洲川源流に産廃施設を造ってよいのか

## 南土山地先「産廃処分場」建設計画

山下よしき参院議員・党副委員長が現地調査、住民懇談会



6日、土山コミュニティセンターで行われた住民懇談会

土山町南土山地先で計画されている「安定型産業廃棄物最終処分場」の建設をめぐるのは、搬入搬出される交通量の増加、水質汚染をはじめ環境への影響など、市民から様々な不安や懸念の声が寄せられています。こうしたなか日本共産党の山下よしき参院議員・副委員長（参院環境委員会理事）は6日、建設予定地の現地調査を行うとともに、地域住民のみなさんとの懇談会を開き、意見をお聞きしま

- ◆ 懇談会では、岡田重美議員が事業概要や市議会での質問内容について報告しました。その後参加された住民から意見や要望が相次いで出されました。紹介します。
- ◆ 安定型というが安定していない。県外からのゴミが多く何が搬入されるかわからない。
- ◆ 大型トレーラーが何台も集落の道路を通る。歩道もなく危険。
- ◆ 野洲川源流の自然豊かな地域に本来に産廃を建ててよいのか。子や孫のことを思うと建設は反対だ。
- ◆ 環境リスクの高い産廃施設ができるとなると、益々人口減少が進む。
- ◆ 土山は雨が多い。盛土が崩れて被害が出ないか心配だ。
- ◆ 土山は旧東海道の宿場町。1km先に産廃ができれば風評被害が出る。
- ◆ 井戸の横にごみを捨てる者はいないというのが人間の知恵だ。シートを張らずごみが埋め立てる計画だが、野洲川下流への影響が大きい。
- ◆ 硫化水素が漏れた栗東のRDの問題もあり、先のことがか心配だ。
- ◆ 地元にとって良いことは何一つ無い。何とか阻止できないか。
- ◆ 県外の廃棄物は持ち込めない等、国で規制をかけることはできないか。
- ◆ 山下よしき参院議員は、「まだ決まったわけではありません。みなさんには自然豊かな故郷を子々孫々残したいという強い思いがあります。一緒に運動をしながら道を開いていきたいと思います」と力を込めて述べました。



産廃建設予定地



現地調査する山下よしき参院議員（左端）と中山和行県議、岡田重美市議、山岡光広市議、さとう耕平党県国政対策委員長、西山実市議ら（6日）

## 3月議会報告会&要求を聞く会開催



日本共産党甲賀市議員団主催の「3月議会報告会&要求を聞く会」を6日、サントピア水口にて開催しました。3名の議員からそれぞれ、代表質問や一般質問の内容、また意見書、新年度予算等について報告した後交流しました。参加者から、単位老人クラブへの補助金、市職員不足、平和施策の拡充、茶園の荒廃、コミバス・公共ライドシェア、万博への子ども参加、災害対策など様々な意見や要望が出されました。出された意見・要望など今後の議会活動にかします。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 4月 13日 第535号



山岡 光広  
甲南町森尻 16  
Tel 86-2985  
Fax 86-0415



岡田 重美  
土山町南土山甲 78-15  
Tel 66-0696  
Fax 66-0696



西山 実  
水口町本丸 3-28  
Tel 62-3044  
Fax 62-3044